

4 取り組みを広げる

4 - 1 自主的に考えて行動する

このカリキュラムでは、興味を持ったテーマについて、自ら活動内容を考え行動し、環境に対する認識を深めることができるようになることを目的としています。

学習活動の参加者が、個人やグループで学習テーマや活動方法を設定し行動するという自由研究の形式のカリキュラムです。活動した内容を報告し合い、お互いの活動について意見交換することで、知識や考え方を深めることができます。学習テーマは参加者が自由に設定しますが、あらかじめ活動場所ごと、あるいは「自然について調べる」「エコアップ計画をつくる」などの取り組みごとのように、大まかな共通テーマを提示しておくとうり行動しやすくなります。指導者は、参加者に興味のあるテーマについて気づかせたり、興味をもった内容についてさらに深めるためにはどのような方法があるのかといったアドバイスやサポートを行いましょう。

< 活動のアイデア > 例えはこんなことをします

アイデア	内容	事例記載ページ
自然環境の 保全計画づくり	自然を守りたい場所を具体的に選び、どのようにしたいのかという目標を立て、そのためにどのようなことをすれば良いか計画を立てます。具体的な計画ができたなら、実際に行動していきます。	70-73
地域のエコアップ	今よりももっと環境を良くしたい地域を具体的に選び、その場所をどのようにしたいのかなどの目標を設定して、具体的にどのような活動をすれば良いか計画を立てます。具体的な計画ができたなら、実際の行動に結び付けます。	74-77

4 - 1 自主的に考えて行動する


自然環境の保全計画づくり	分野	活動フィールド	季節
地域の自然調査隊	取り組みを広げる	住んでいるまち	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段何気なく過ごしている地域の自然環境の恩恵を再確認し，自主的な行動につなげる 			
<p>事前に調べておくこと</p> <p>危険地域，立ち入らない方がよい場所 緊急時の連絡先，連絡方法，終了後の 集合場所</p>	<p>必要な準備</p> <p>野帳，クリップボード 筆記用具 地域周辺の地図 救急用品</p>		
<p>主な学習内容</p> <p><u>地域の自然探索</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の地図を片手に自然を観察し，地域の特徴や，どんなところを守りたいかなどを地図に記入する <p><u>情報を整理する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ で調べた結果をもとに地域の環境マップをつくる <p><u>発表会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループが作成した環境マップを発表し，評価し合う 			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <p>交通事故などに充分気をつける 注意事項やルール，マナーの周知の徹底</p>	<p>活動の後で</p> <p>グループ内で環境問題に関する意見を出し合い，その対策を講じ，行動に移す</p>		
<p>いろいろな情報</p>			

「自然の保全計画づくり」(P72)や「環境新聞をつくろう」(P81)の下準備としても活用可能です

4 - 1 自主的に考えて行動する

自然環境の保全計画づくり	分野	活動フィールド	季節
自然今昔くらべ	取り組みを広げる	住んでいるまち	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活の変化と自然環境の変遷との関係性を知る ・人間の活動が自然環境に大きな影響を与えていることを理解する 			
<p>事前に調べておくこと</p> <p>自然の変遷について調べるための方法 宇都宮市の昔を知る年配者との面談の 約束や許可申請の方法</p>	<p>必要な準備</p> <p>参考資料（文献，写真など） 筆記用具 ノート</p>		
<p>主な学習内容</p> <p><u>調べよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の自然環境を含め，さまざまな方法で歴史の情報収集を行う（図書館，インターネットなど） <p><u>インタビューをしよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちに昔から住むおじいさん，おばあさんに宇都宮市の昔の様子について聞きに行く ・得られた情報と実際の話から，宇都宮市における自然環境の移り変わりを探る <p><u>変化の原因を探ろう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の変化が分かったところで，今の生活，昔の生活とを照らし合わせながら，なぜ今のように変わってきたかを考える ・今と昔を比較しながら，良くなった点，悪くなった点などを抽出し，良い点の維持策と悪くなった点の解決策を考案する <p><u>発表しよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の場を設け，成果発表を行う ・地元の方の意見を聞き，対策を講じられものについての提言を行う 			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <p>知識を得る楽しさや情報を得る過程の面白さを教える 自然環境だけでなく，昔の暮らしについてもインタビューするように促す 人の話を注意深く聞くことの大切さを伝える</p>	<p>活動の後で</p>		
<p>いろいろな情報</p>			

4 - 1 自主的に考えて行動する

自然環境の保全計画づくり	分野	活動フィールド	季節
自然の保全計画づくり	取り組みを広げる	森林など	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間の活動との関係を理解し，自然を守ることの大切さを知る ・自然を守っていくとはどういうことかを考え，実行する 			
<p>事前に調べておくこと</p> <p>実際に自治体で実施されている保全計画 地域の問題点や保全のための具体例 専門家の手配の仕方</p>	<p>必要な準備</p> <p>地図 資料 模造紙，筆記用具</p>		
<p>主な学習内容</p> <p><u>守るべき自然はどこか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の自然調査隊」(P70)や「自然の今昔くらべ」(P71)などで調べた結果をもとに，自分が守るべきだと思ふ地域を決める <p><u>どうやって守るか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その地域の自然を守るにはどうすれば良いか考え，保全計画案を組み立てる 例)みどりいっぱい計画，お魚帰って来い計画 など ・いろいろな人の意見を聞く ・皆の意見を参考に自分の意見をまとめる <p><u>実行する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が立てた計画に基づいて実行する 			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <p>計画を立てる目的や動機をきちんと表現できるように促す 計画達成のためには多くの人の協力が必要であることに気づかせる</p>	<p>活動の後で</p> <p>計画を実行することの大切さや難しさについてグループで意見交換をする 実施者以外の複数人の意見を反映する 難しさや方法について考えさせる</p>		
<p>いろいろな情報</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><うつのみや百景> 鶴田沼(鶴田町)</p> </div>  </div>			

4 - 1 自主的に考えて行動する

自然環境の保全計画づくり	分野	活動フィールド	季節
豊かな川をつくろう	取り組みを広げる	河川など	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	1人から可	複数日
学習のねらい ・普段目にする河川が人工的に整備され、従来の生態系が壊されていることを認識する ・いかに河川を自然の状態に近づけられるかを、自ら考える			
事前に調べておくこと 対象とするに適切な河川 危険区域や危険の可能性と安全の確認	必要な準備 地域の地図 筆記用具 救急用品 生態系が豊かとされている河川などの資料 カメラ クリップボード		
主な学習内容 <u>河川敷を歩いて、今の様子を調べる</u> ・河川敷を歩きながら、スケッチをしたり、写真を撮ったり、記録するなどして、川の様子（護岸の様子、生えている草花、川の中の生物、水の濁り具合など）について調べる <u>調べたことをまとめる</u> ・記録したものを整理し、川の様子についてまとめる <u>豊かな川ってなんだろう</u> ・生態系が豊かとされる川の写真や映像などを見て、自分たちが見た川と何が違うかを考える（ よりも先に行ってもよい） <u>豊かな川づくり計画</u> ・今の川を豊かな川に変えていくためにはどうすればよいのかを考える			
実施時に気にしておくこと 安全面の確保（スタッフの配置） 天候状況の確認	活動の後で 計画を実行させることの大切さや難しさについてグループで意見交換をする		
いろいろな情報			

4 - 1 自主的に考えて行動する

地域のエコアップ	分野	活動フィールド	季節
地域の循環システム	取り組みを広げる	家庭，学校など	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	1人から可	複数日
学習のねらい ・ 私たちを取り巻く生態系の循環システムを理解し，認識する ・ 循環型社会の必要性について理解し，生活スタイルへの導入方法を考える			
事前に調べておくこと コンポストの普及状況やコストなど 循環システムに関する情報 飼肥料化するまでの時間 循環システムを実施している団体への協力要請	必要な準備 筆記用具 カメラ 救急用品		
主な学習内容 <u>循環システムってなあに？</u> ・ 食物が微生物によって分解され，肥料となり，その肥料で食物が育つという循環システムの効果や普及状況を調べる ・ 調べた結果を話し合う <u>コンポストを使ってみよう</u> ・ 実際にコンポストマシンを設置し，食べかすなどを使って飼肥料を作ってみる <u>野菜のある暮らし</u> ・ 様々な種類の野菜を，自分たちが作った肥料で育てる ・ 近所に肥料などを配布し，緑化の協力を要請する <u>自給自足生活</u> ・ 自分たちで育てた野菜を使い，調理する			
実施時に気にしておくこと ミミズコンポストなどは，苦手な参加者も多いことを考慮し，様々なタイプの飼肥料化方法があることを伝える	活動の後で 継続して活動が実施できるように支援体制（農家へ肥料の引き取りを依頼するなど）を整える 飼肥料化や循環システムの問題点を挙げ，解決策を考える		
いろいろな情報			

4 - 1 自主的に考えて行動する

地域のエコアップ	分野	活動フィールド	季節
環境のためにできることを 考えよう	取り組みを広げる	学校, 家庭など	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
学習のねらい ・個人またはグループ単位でできる環境にやさしい取り組みを考える ・環境のために自らできることを考え, 行動に移せるようにする			
事前に調べておくこと 地域における環境活動例 勉強会などを開催する際の専門家への 指導依頼方法	必要な準備 考える場所の確保 紙, 筆記用具 取り組み事例の参考図書		
主な学習内容 <u>地域で見られる環境問題</u> ・身近な地域で見られる環境問題を調査する (ペットの糞が落ちている, 放置自転車が多い, タバコのポイ捨てが目立つなど) ・興味やこれまでの取り組みから, どのテーマについて何をしたいのかを決める <u>地域の環境関連法規制を調べる</u> ・環境関連の法規制などを調べ, であげられた問題点が法規制で取り上げられているかを調べる <u>問題解決策を考える</u> ・の問題がどのようにしたら解決できるかを考え, 発表する ・発表した解決策の中で自分でできる解決策をどんな方法で取り組めばよいか考える <u>行動する</u> ・考えた内容を元に具体的な活動計画を立てる ・取り組みの効果を記録する			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #ffffcc; display: inline-block;"> <p>自分の行動できる範囲で, 無理のない計画を立てましょう!</p> <p>例) ・いつどこで活動するか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な行動内容 ・必要な準備 ・活動時間 ・安全面の配慮 など </div>			
実施時に気にしておくこと 指導者は, 参加者が自分で興味を整理したり, 無理のない活動計画を立てられるように, 参加者とよく話し合いながらアドバイスを	活動の後で 活動して, どんなことが良かったか, 反省すべき点はどんなことか, 次に活動する時にはどうしたいかなどを考える お互いに愉しく, 励ましあいながら活動ができるようなネットワーク作りを実施する		
いろいろな情報			

4 - 1 自主的に考えて行動する

地域のエコアップ	分野	活動フィールド	季節
みどりの家計簿を つけてみよう	取り組みを広げる	学校, 家庭など	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	1人から可	複数日
学習のねらい ・環境と生活のつながりについて考える ・環境に対する取り組みのきっかけとなり, 普段の生活から環境を意識できるようになる			
事前に調べておくこと 環境家計簿に関する情報	必要な準備 紙, 筆記用具 各自治体などが発行している環境家計簿(そのまま使っても, 参考にしても良い)		
主な学習内容 <u>環境の家計簿ってなあに?</u> ・環境家計簿とは何か, 環境家計簿がどのように環境保全に役立つのかを学び, 自分にできることを考える <u>みどりの家計簿を作る</u> ・環境家計簿にヒントを得て, 緑を基本とした記録の内容や方法を考える 例) 植物や種を買った場合は○ポイント獲得 植物に水を上げたら○ポイント獲得 植物を枯らしてしまったら○ポイント減点 など ・家計簿達成度大会などを開催し, 最も工夫してあった家計簿を評価する			
実施時に気にしておくこと 参加者に合わせたアドバイス	活動の後で 活動してみて, どんなことが良かったか, 反省すべき点はどんなことか, 次に活動する時にはどうしたいかなどを考える		
いろいろな情報			

4 - 1 自主的に考えて行動する

地域のエコアップ	分野	活動フィールド	季節
フラスーマネー	取り組みを広げる	住んでいるまち	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動と経済とのつながりについて考えると同時に、地域のコミュニティに参加しながら環境の価値について考える 			
<p>事前に調べておくこと</p> <p>エコマネーや地域通貨に関する情報 活動協力が可能な店舗 商店街や地域への協力や許可申請の方法</p>	<p>必要な準備</p> <p>紙 筆記用具 模造紙 地図</p>		
<p>主な学習内容</p> <p><u>花の種を配り、育ててもらう</u></p> <p><u>花から再度種を収穫してもらい、種の多さを競う</u></p> <p><u>種が取れなかった人は、種をたくさん持っている人から「良いこと」と引き換えに種を得ることができるシステムを考える</u></p> <p><u>エコカード発行や地域通貨などに結びつける</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や子ども会など限定した団体内で、エコカードやエコマネーを発行するシステムを考える ・商店街などへ協力の呼びかけをし、環境配慮型商品を買った場合にエコマネーを使えるなどのシステムを考える 			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <p>営利目的とならないように対応 地域の商店街などでも活用できるように基盤作りを行う 通貨システムが機能するよう体制維持のバックアップを考える</p>	<p>活動の後で</p> <p>どんなことが良かったか、反省すべき点はどんなことか、次に活動する時にはどうしたいかなどを考える 効果的な広め方を考える</p>		
<p>いろいろな情報</p>			

4 2 取り組みを伝える

このカリキュラムでは、野外環境学習活動で学んだことを通し、自分がどのようなことを学んだのかを他の人に伝えたり、他の人がどのようなことを考えているのかを知ることによって、自らの環境に対する認識を明確にし、取り組みをさらに深めていくことを目的としています。

内容としては、活動発表や意見交換のほか、他の人の取り組みについて調べたり、指導者になるための研修に参加することなどがあげられます。自分の考えや知識、活動をどのように伝えたら良いか、他の人の考えや知識、取り組みを自分の考えや取り組みにどう結びつけるのかを考えましょう。活動方法は、学習の参加者が自ら考えて企画しましょう。

<活動のアイデア> 例えばこんなことをします

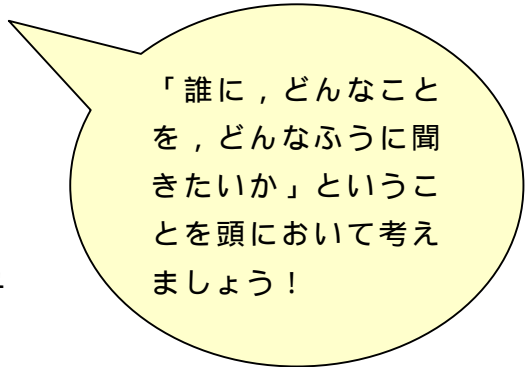
アイデア	内 容	事例記載 ページ
他の人の考え方や取り組みを知る	国内外において、環境に対して行われている取り組みを調べます。 手法としては、関連する書籍を調べる、インターネットで検索する、関係者にヒアリングを行うなどがあげられます。	79-80
活動発表	環境調査の結果や環境保全活動の状況など、自分の取り組みを発表します。 発表方法としては、発表会を行う、壁新聞などにまとめて公表する、ホームページを作成するなどがあります。	81-82
意見交換	活動発表などの情報発信とともに、他の人たちとの意見交換を行います。環境フォーラムなどを開催して話し合います。	82
イベントへの参加	地域で行われている様々なイベントに参加することで、同じ関心をもった人々との交流を深め、さまざまな意見を聞き、視野を広げていくことができます。	83-85

4 - 2 取り組みを伝える

他の人の考え方や取り組みを知る	分野	活動フィールド	季節
他の人に学ぼう	取り組みを広げる	選んだテーマに応じて決めましょう	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	1人から可	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人が、自然環境を守るためにどのようなことを考えて、どのようなことをしているのかを調べ、自分の取り組みにどのように活かしていけば良いかを考える 			
<p>事前に調べておくこと</p> <p>図書館, インターネット, 有識者, 関係機関など, 情報を調べるための方法・場所</p>	<p>必要な準備</p> <p>考える場所の確保 意見をまとめるための模造紙や筆記用具など</p>		
<p>主な学習内容</p> <p><u>調べる内容を定める</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味やこれまでの自然環境に関する取り組みから、どのようなテーマについて調べるかを定める <p><u>実際に調べる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような方法で調べれば良いか（資料を調べる, 人に聞く, 現地に行くなど）を決める ・自分の決めた調べ方で、テーマについてや同様のテーマに関する他の人の取り組みについて調査する <p><u>調べた結果をまとめる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果を図表などにまとめて整理する <p><u>自分の取り組みを考える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の取り組みで良いところ・悪いところを考え、自分の取り組みにどのように活かせるのか、活かすとすればどのような方法か、などを考える 			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <p>活動事例を調べるのみではなく、環境のために自分がどのようなことをしたいのか、どんなことが取り入れられそうかなどを意識させる 取り組みを調べた人に失礼がないように配慮</p>	<p>活動の後で</p> <p>すぐに行動できることがあれば、実践に結びつける 他に調べてみたいテーマについて考える</p>		
<p>いろいろな情報</p>			

4 - 2 取り組みを伝える

他の人の考え方や取り組みを知る	分野	活動フィールド	季節
環境についてインタビュー をしよう	取り組みを広げる	選んだテーマに 応じて決めましょう	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	1人から可	複数日
学習のねらい ・人々の環境に対する意識やさまざまな考え方を知る ・インタビューを通し，質問をする方法，話を聞く方法について学ぶ			
事前に調べておくこと 官公庁や自治体，メディアなどで 公表されている環境意識や環境に 関する情報	必要な準備 考える場所の確保 インタビューを書き留めるためのノート 資料		
主な学習内容 <u>インタビューの内容の検討</u> ・インタビューの対象，質問内容などについて検討し，質問票を作成する <u>インタビューの準備</u> ・事前にインタビューの約束をとりつける ・インタビューの資料や録音テープなど必要 なものを揃える <u>インタビューの実施</u> ・話の仕方，聞き方に注意しながらインタビュ ーを行う <u>インタビューのまとめ，反省</u> ・インタビューの結果をまとめて整理し，インタビュー内容や行い方について振 り返る ・今後の自分自身の環境意識のもち方について話し合い，次の行動につなげる <u>お礼状の作成</u> ・訪問先へのお礼状を作成する			
実施時に気にしておくこと インタビューの内容が，受ける側にと って，失礼のないように配慮 インタビューを受けてくださる方への 早めのスケジュール伝達	活動の後で インタビューより学んだことを振り 返り，分かち合う時間を設ける 今後の自分たちの行動や考え方につ いてまとめる		
いろいろな情報			



4 - 2 取り組みを伝える

活動発表	分野	活動フィールド	季節
環境新聞をつくろう	取り組みを広げる	選んだテーマに応じて決めましょう	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	1人から可	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが環境について調べたこと，学んだことについて整理する ・客観的に環境問題を捉え，正確に伝える方法や書き方を学ぶ 			
<p>事前に調べておくこと</p> <p>図書館，インターネット，有識者，関係機関など，情報を調べるための方法・場所</p> <p>取材許可の申請方法</p>		<p>必要な準備</p> <p>考える場所の確保</p> <p>模造紙</p> <p>筆記用具，マーカーペン</p>	
<p>主な学習内容</p> <p><u>取材内容を決める</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味やこれまでの取り組みから，どのようなテーマについて取材するかを決める <p><u>取材方法を決める</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような方法で調べれば良いか（資料を調べる，人に聞く，現地に行くなど）を決める ・調査票などが必要であれば，準備する <p><u>取材する</u></p> <p><u>新聞を作る</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果をまとめて新聞を作る ・どのくらいのボリュームにするか，どのような内容が一般的に好まれるかなど内容のバランスを考える <p><u>新聞を評価する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの新聞を読みながら，良いところや改善すべきところを発表し合う 			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <p>活動事例を調べて記事にするだけでなく，環境のために自分が読者にどのようなことを伝えたいのか取材目的を明らかにさせる</p> <p>取材をする時は，相手に失礼がないように注意</p>		<p>活動の後で</p> <p>すぐに行動に移せそうな記事があれば，自分でも実践してみる</p> <p>他に調べてみたいテーマについて考える</p> <p>次の新聞作りについて話し合う</p>	
<p>いろいろな情報</p>			

4 - 2 取り組みを伝える

活動発表/意見交換	分野	活動フィールド	季節
環境フォーラムを開こう	取り組みを広げる	選んだテーマに応じて決めましょう	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
学習のねらい ・自分の考えや取り組みをまとめ、他の人に伝える ・意見交換を行い、他の人の考えや取り組みを、自分の活動に反映させる			
事前に調べておくこと 環境に関するフォーラムやシンポジウムなどの開催例 専門家の抽出や依頼の方法 支援団体や後援団体への依頼方法		必要な準備 開催日の設定 開催場所の決定	
主な学習内容 <u>開催計画を立てる</u> ・フォーラムのテーマ、目標、対象者などを話し合って決める ・フォーラムのプログラム（活動発表をする、ゲームをする、ビデオなどを見る、講演を行う、パネルディスカッションをする、参加者全員で話し合うなど）を検討する ・開催スケジュール配分、役割分担、必要な準備、宣伝方法などを検討する ・検討内容を開催計画書にまとめる <u>開催準備を行う</u> ・発表資料や配布資料（開催プログラム、説明資料など）を用意する ・必要に応じて、講演依頼を行う ・チラシの作成などを行い、フォーラムの開催を宣伝する ・会場の下見、会場準備、リハーサルを行う <u>フォーラムを開催する</u> ・写真・ビデオなどで、開催状況を記録する <u>開催記録をまとめる</u> ・開催状況、意見交換の内容などをまとめる			
実施時に気にしておくこと 準備期間を充分にとる フォーラムの企画・運営は、十分に話し合って決める 役割分担・作業量に偏りが出ないように配慮する		活動の後で 意見交換の結果などを踏まえて、今後の活動にどのように活かすか考える	
いろいろな情報			

4 - 2 取り組みを伝える

イベントへの参加	分野	活動フィールド	季節
環境ボランティアに参加する	取り組みを広げる	選んだテーマに応じて決めましょう	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をすることで、環境に関する明確な目的をもつ ・地域のイベントに参加することで、地域との交流を深める ・他の人とふれあうことで、新しいものの見方や考え方を発見し、視野を広げる 			
<p>事前に調べておくこと</p> <p>地域で開催されているイベントの内容・日程・場所 地域のボランティア団体</p>		<p>必要な準備</p> <p>参加申込み（必要な場合）</p>	
<p>主な学習内容</p> <p><u>ボランティアが必要なわけ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとは何か、ボランティアが必要な分野など、ボランティアに関して学び整理する ・ボランティア参加者の考えや意見を聴き、自分のボランティアに関する考えをまとめる <p><u>ボランティア団体を探す</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍している環境ボランティア団体をインターネットや情報誌などを使って探す <p><u>ボランティアに参加する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が地域に必要であると考え環境ボランティア活動に参加する ・身近なところでできる環境ボランティア活動を考える（家庭でできること、学校でできることなど） 			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <p>参加者同士の交流を促す 自分自身が得られるものに気づかせる 事故などが生じないように配慮する 自分とは異なった意見にも耳を傾けさせる</p>		<p>活動の後で</p> <p>参加して考えたことや得ることができたことなどを発表し、今後の活動にどのように活かすか考える機会を設ける 活動を通して、自分にプラスとなった点を整理する</p>	
<p>いろいろな情報</p>			

4 - 2 取り組みを伝える

イベントへの参加	分野	活動フィールド	季節
環境にやさしい日	取り組みを広げる	選んだテーマに応じて決めましょう	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
学習のねらい ・地域の環境に関するイベントに参加することで、地域との交流を深める ・他の人とふれあうことで、新しいものの見方や考え方を発見し、視野を広げる			
事前に調べておくこと 地域で開催されているイベントの内容・日程・場所 参加経験者への指導依頼方法		必要な準備 参加申込み（必要な場合） 資料、文献	
主な学習内容 <u>〇〇デーってなあに？</u> ・環境に関する世界の動向を調べる ・世界各国で共通している記念日を調べる ・環境に関する記念日設定の目的や活動の広がりなどを調べる ・日本や地域における環境に関する記念日の情報を収集する <u>自分たちができることとは</u> ・環境のために自分たちができることを考える ・〇〇デーのイベントに参加することの利点や欠点を洗い出す ・イベントに参加した方の考えを聞き、自分自身の考えをまとめる <u>〇〇デーのイベントに参加する</u> ・イベントに参加する			
実施時に気にしておくこと イベントに参加したことで、自分の意識がどのように変化したか気づかせる		活動の後で 参加して考えたことや得ることができたことなどを発表し、今後の活動にどのように活かすか考える機会を設ける	
いろいろな情報			

4 - 2 取り組みを伝える

イベントへの参加	分野	活動フィールド	季節
環境大賞に応募しよう！	取り組みを広げる	選んだテーマに応じて決めましょう	春夏秋冬
	対象者	参加人数	時間
	子どもから大人	複数人	複数日
<p>学習のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する自分の考えや意見をまとめ他の人に伝える力を養う 			
<p>事前に調べておくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募するイベントの日程・場所・応募方法 環境に関する情報の収集 	<p>必要な準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加申込み（必要な場合） 		
<p>主な学習内容</p> <p><u>環境に関するイベントや発表の場を見つける</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する地域のイベント情報を収集する ・応募資格や発表までのスケジュールなどを確認する <p><u>テーマを理解する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの目的やテーマを理解する <p><u>どのように伝えるか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の環境に関する考え方を整理する ・様々な自分自身のアイデアからテーマに沿った物を選び出す ・どのようにしたら正確に伝えられるかを考えながら文章化する ・身近な人に添削をしてもらう <p><u>応募する</u></p>			
<p>実施時に気にしておくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表までの準備期間を充分にとる 	<p>活動の後で</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加して考えたことや得ることができたことなどを発表し、今後の活動にどのように活かすか考える機会を設ける 文章化することの重要性や問題点を話し合う 環境関連の論文大賞や作文コンクールなど公への有効な発言手段を紹介する 		
<p>いろいろな情報</p>			